

陸平通信

OKADAIRA 2020年3月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター（陸平研究所）
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 101号

陸平貝塚発掘調査140年記念企画展を開催！

里帰りした陸平貝塚の資料と大森貝塚の資料



双口土器

陸平貝塚の最初の発掘調査から140年を記念した企画展「陸平、明治と平成の調査風景」が文化財センターで開催されています。

今回の企画展は、140年前に最初に行なわれた調査と、平成20年度から10年にわたる近年おこなわれた住民参加による発掘調査の成果を紹介する二つの内容です。特に、東京大学に所蔵されている佐々木忠次郎と飯島魁による最初の調査で出土した資料と双口土器、そしてかつては歴史の教科書に必ず出ていた大森貝塚の資料（重要文化財）も展示されています。大森貝塚の調査なくして陸平貝塚の調査はありませんでした。そのことも今回の展示でご紹介していますので、この機会にぜひご来場ください。企画展は3月8日（日）まで開催しています。

また、会期中は「陸平貝塚の調査成果と今後の展望」というテーマで4回の連続講演会も開催しています。講演会の内容は近年実施された発掘調査の成果を、関わっていただいている専門の先生からお話していただきます。2月中におこなわれた講演会の主な内容を次頁でご紹介します。



▲講演会の様子

連続講演会 第4回

阿部 芳郎 氏（明治大学）
「陸平人の暮らしと社会」

日時 3月1日（日）午後2時～
会場 文化財センター

講演会をのぞいてみよう！



「陸平貝塚の調査成果と今後の展望」を共通テーマに各分野の先生に陸平貝塚についてわかってきていることをお話していただきました。リクルとタイラが少しだけ内容をご紹介します。

樋泉 岳二 先生(明治大学)

2月2日(日)「貝・骨からみた陸平貝塚の暮らし」

樋泉先生は貝塚の貝や動物・魚の骨について研究をしています。

陸平貝塚は数千年というとても長い期間にわたり縄文人が活動の場としていたことが他にはない大きな特徴のひとつです。陸平の貝は干潟でとれる種類で、当時陸平の周りには干潟が形成されていました。貝の種類を細かく調べると泥のような干潟から砂のような干潟に環境が変化したことがわかってきました。貝はハマグリがとて多く、陸平の人々が好んでとってきたことがわかります。

貝塚を洗うと土がとりのぞかれて魚の骨がたくさんでできます。魚の種類をみみると内湾にすむ魚を長く利用していたことがわかりました。なかでもウナギの骨が他の地域の貝塚と比べて多い特徴がみられます。ただ縄文人がウナギをどのような方法で取って、どのように調理して食べていたのかということまではまだわかっていません。これまでの調査でわかってきたこともあります、これから調べていく課題もあることが改めてわかってきました。



黒住 耐二 先生(千葉県立中央博物館)

2月9日(日)「数mmの小さな貝が示す陸平貝塚の特徴」



黒住先生は貝から縄文人が生活していた当時の環境にせまる研究をしています。貝といっても私たちが食べている貝よりももっともっと小さな、数mmという大きさの貝(微小貝と呼んでいます)を研究の対象にして各地の貝塚を調べています。

微小貝には海にすんでいる種類や陸にすんでいる種類があります。陸にすんでいる微小貝(カタツムリと呼んでいます)を調べると、さらに草地にすむもの、森にすむものなどに分けられます。陸平貝塚では時期によって森林だったり、草原のように開けた環境だったことがわかってきました。自然にできた景観なのか、あるいは人の手が加えられて作られた景観なのかなど、微小貝を通して縄文人がいた頃の陸平がどのような環境だったか考えることができます。

また、海藻に付着したまま陸平に微小貝ごと持ち込まれたことが確認されれば、当時の塩作りについて考える有効な資料にもなります。陸平貝塚の貝は縄文時代の環境や暮らしを反映する大切な資料です。

米田 穰 先生(東京大学)

2月16日(日)「最新科学が明らかにした陸平縄文人の食生活」

米田先生は先史時代を中心に古人骨などを分析して食生活や年代測定など考古学と科学を連携した研究をしています。

私たちの身体は食物から作られているため成分を分析すると食物を推定することができます。先史時代の人々の身体で私たちが目にできるのは骨です。骨の中にはタンパク質がわずかに残されている場合があります。タンパク質の主な成分は炭素と窒素ですが、炭素の中でも重さの異なる原子があり、窒素も同様に重さの異なる原子があります。このことを利用して残されている骨を分析してどのような食物を食べていたのか科学的なデータを出して調べます。陸平貝塚から出土した人骨は縄文時代のものが東京大学にも保管されています。そして近年陸平貝塚で見つかった人骨には弥生時代と平安時代のものがあります。それらを調べてみると、縄文時代は木の実などを中心に海産物も一定量利用する食生活で、弥生時代にも大きな変化はなく、平安時代になると水稻農耕民の特徴がみとめられました。



「美浦かるた」で知るみほの文化財

今回の札は
「お」

陸平貝塚は 考古学の 原点だ

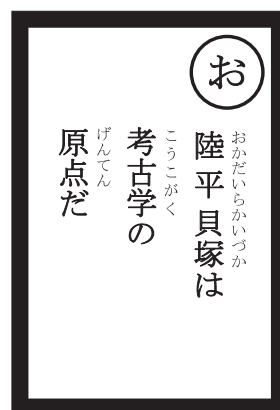
陸平貝塚は考古学の原点。

この言葉は陸平貝塚を紹介する際よく使われていますが、ただ単に陸平貝塚が日本人だけの手による最初の発掘調査であるということではなく、佐々木忠次郎と飯島魁^{いさお}の二人がまとめた報告書の内容にも目を向ける必要があります。

佐々木らは調査（明治12年）の翌年（明治13年）に東京大学の法学部、理学部、文学部の三学部が刊行する『学芸志林』という雑誌に「常州陸平介墟報告」として掲載され、明治16年には東京大学理学部紀要の第1巻第1部の附録として陸平貝塚の正式報告書「OKADAIRA SHELL MOUND」が刊行されました。

これはタイトルから想像がつくように英文で記されたものです。内容も単なる調査の報告ではなく、先に調査が行われた大森貝塚との成果をふまえた比較研究がなされている学術的な研究報告書となっています。英文の報告書は海外の大学や博物館などの研究機関にも送られました。そして当時（明治17年）アメリカの『The New York Times』や『The American Naturalist』で陸平貝塚の報告書の書評が掲載されたのです。その内容をみると、佐々木らの研究成果が高く評価されたことがわかります。

陸平貝塚の報告書は、その後の日本の考古学の研究における縄文土器研究に、重要な役割を果たすこととなります。佐々木らが土器について、大森貝塚出土のものと陸平貝塚出土のものとでその違いに着目したことは、後の研究に影響を与えるとともに、土器が年代によりまた地域により違いがあり、年代の指標として扱われるようになるという考古学の研究につながっているといえます。陸平貝塚が考古学の原点といわれる理由にはそのようなことに起因しているといえるでしょう。



美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村の魅力を紹介しているかるたです。

◆『史料で探る美浦の中世史』 頒布価格1,500円

平成28年度に開催した歴史講座（全3回）の講義録。本書は稲敷地域の中世に造詣の深い平田満男氏が、「信太庄」「土岐原氏」「寺院寺社」をテーマにとりあげて講義した話を文章にした内容です。読みやすく、美浦村の中世を理解するにも役立ちます。関連史料も多数掲載しています。

◆『陸平貝塚－調査研究報告書9・2016年度確認調査の成果－』 頒布価格1,300円

平成20年度から10カ年計画で実施してきた国史跡陸平貝塚の住民参加による確認調査の報告書。2016年に調査した陸平I貝塚（縄文時代中期～後期）の貝層の堆積状況やB貝塚周辺のボーリング探査の報告。

◆『陸平貝塚－調査研究報告書10・確認調査成果のまとめ－』 頒布価格1,000円

平成20年度から10カ年計画で実施してきた陸平貝塚確認調査の総まとめ。

刊
行
物
の
ご
案
内

文化財に関する図書を刊行しました。文化財センターで有料にて頒布しているほか、中央公民館図書室にてご覧いただけます。



第22回 縄文の森コンサート -春のJAZZを楽しむ-

- ◆日時 3月29日(日)
 ◆出演 早川 由紀子(ピアノ)、
 早川 咲 (ボーカル)
 ◆会場 文化財センター
 ◆入場無料
 ◆主催 陸平をヨイショする会
 ◆後援 美浦村・美浦村教育委員会
 お問合せ先：文化財センター



早川 咲

早川 由紀子

第29回 梅朝基礎落語

落語で笑って楽しいひとときを！

- ◆日時 3月8日(日) ◆演目はお楽しみ！
 ◆時間 午後1時30分から 当日、直接会場に
 ◆会場 文化財センター お越しください。
 ◆出演 好文亭梅朝

指定文化財春季公開

木原城址に関わる指定文化財を公開します。

- ◆公開日 4月28日(火)～5月3日(日)
 ※4月29日は休館
 ◆会場 文化財センター展示室
 ◆開館時間 午前9時～午後5時

縄文体験の日

ゴールデンウィークに体験イベント「縄文体験の日」を開催します。気軽に体験できるメニューをご用意して皆様のご来館をお待ちしています。
 (事前予約不要)

- ◆日時 5月3日(日)
 午前9時30分～午後4時

◆主な体験メニュー

縄文土器、土笛、縄文クッキーほか

※所要時間のかかる体験は最終受付が早くなる場合があります。

展示替えにともなう展示室休室

3月10日(火)～3月27日(金)

イノシシ注意



陸平貝塚公園内及び周辺で、イノシシの足跡等が確認されているため、陸平貝塚公園内の一部に、有害鳥獣捕獲隊による「わな」を仕掛けています。

わなの近くには、目印として注意を促す札が付けてあります。札の先や周囲には、わなが仕掛けてあり、危険ですので絶対に近寄らないでください。

陸平貝塚公園までの交通アクセス

- 【車】 by car
 常磐自動車道「桜土浦IC」より
 国道125号バイパスで約40分
 圏央道「稲敷」より15分
 【バス】 by bus
 JR土浦駅より西口①バスのりば
 木原経由江戸崎行き
 「谷津入」下車 タクシーで約5分
 または「大谷」下車 3.5km

